

2013年
東日本版

地元で評判の 工務店で 建てた家

腕はもちろん、センスもGOOD!

いい家建てたら、いい家具選ぼう!
住まいのテイストを
決めるインテリア

いい家を建てるために気をつけておきたいこととは
建主の心得2013

EAST・KANAGAWA

ワイズ

湘南の気候・風土・地域性を知り尽くし、独自の建材とデザインでオリジナリティを追求。妥協のない家づくりで質の高い住まいに

PROFILE

ワイズのこだわりは妥協しない家づくり。湘南の潮風や陽光の影響などを考慮して、何度も検討を重ねる。建主からの要望については、プランの採用のメリット・デメリットを説明し、お互いに納得のいくまで打ち合わせを続けていく。外装材・キッチン・階段・シャッターなど、オリジナル建材も開発。住宅の質の向上に努めている。

DATA

社名／ワイズ

代表／山本康彦

住所／〒253-0021

神奈川県茅ヶ崎市浜竹3-4-64

☎ 0467-88-3903

年間建築棟数／新築10棟

社員数／5名

建築地域／湘南を中心に神奈川県全域

設立／1993年7月

定休日／水曜、第1・3火曜

アフターメンテナンスの対応

- ・建主から連絡があればそのつど点検に向かう。特に台風などの自然災害による緊急時は迅速に対応。



JR辻堂駅西口から徒歩2分の好立地にあるワイズの社屋。シンボルマークが目印だ

COMMENT

独創的な間取りや意匠には必ず理由があるもの。敷地や予算など諸条件におけるデメリットは、設計・施工の工夫を引き出して最高のチャームポイントになり得ます。大切なのは創意工夫。さあ一緒に家づくりしませんか？

右はワイズのシンボルマーク。会社設立時に代表の山本さんが自らのイニシャルをもとにデザインしたものだ。ワイズの建てる住宅の多くには、建主からの要望により、このマークが建物の外壁に掲げられている。



新たな和モダンスタイル の理想を具現化

駅からほど近い住宅地の中に悠然と佇む丁寧。前面道路からは箱型の棟が目に入り、モダンスタイルのイメージが強い外観だが、敷地の南側は勾配の緩い下屋と2面に大きく確保された開口部と広いウッドデッキが、「現代風緑側」の趣を醸し出している。

和洋のスタイルがほどよくマッチングされたこの住まいの設計・施工を手掛けたのは、湘南エリアで数多くの住宅実績を持つビルダーワイズ。これまでシャープでモダンなデザインで定評を得てきただが、今回は和モダンのスタイルをプランに取り入れた。

床材は30mm厚の奈良県産吉野杉。構造材やその他の内装・製作にもふんだんに国産の無垢材を使っている。施工は社員大工が行



和のエッセンスを モダンにまとめた家

神奈川県 Tさんの家



1. 吉野杉の豊かな質感が魅力的な室内。床、天井ともフローリングに広がり、1階のLDKはゆったりとした雰囲気にまとめられた。2. 南に向けて大きく張り出したウッドデッキを持つT邸。勾配の緩い下屋とシャープな片流れ屋根が、和洋双方の要素を感じさせることになった。

い、造作家具も自社工場で製作する同社ならではのこだわりだ。今回は外壁に国産天然素材を原 料とした瀬戸漆喰を採用。その下地となる「木すりパネル」も同社 のオリジナルだ。空間をすっきりと見せるモダンスタイルの手法で、日本古来のデザインモチーフや素材を生かし、同社に新たな作風が生まれることになった。



1. 南に大きく張り出したウッドデッキ。サッシはすべて引き込むことができ、内外は一体に。デッキは40㍉もの広さがある 2. 玄関の吹き抜けは、ダイナミックな木構造が見所だ。

自然の風を取り込んで
開放感を満喫



3. ステンレスのクールな質感が魅力的なオリジナルキッチン 4. キッチンの収納は造作。ブッシュ式を採用して、収納扉は取っ手のないフラットな仕上がりに。随所にナチュラルな質感とモダンとの融合が意識されている



3. ステンレスのクールな質感が魅力的なオリジナルキッチン 4. キッチンの収納は造作。ブッシュ式を採用して、収納扉は取っ手のないフラットな仕上がりに。随所にナチュラルな質感とモダンとの融合が意識されている

得意技

自然の光と風

地域の自然環境を活用する

湘南の地ではその日差しと風が独特な魅力のひとつになる。同社では開口部の配置には特に細かく配慮を施し、住まいの要所に自然の光と風を取り込むようにしている。T部の玄関でも、吹き抜け上部に高窓を設け、東からの朝日を気持ちよく確保した。





2階の和室では繊細なデザインの障子が整然とした美しさを感じさせる。こうした建具職人と連携もワイズの得意技のひとつだ



5.2階のホールでも、格子の目隠しやオリジナルの洗面台など造作が多い用され、木質感あふれる仕上がりに。6.ハーフユニットバスに檜の無垢板を組み合わせた浴室。上品な木の風合いがリラックスタイムを心地よく演出する



洗い出しの土間の足元の周囲に那智石を敷き、高級感あるアプローチに。正面の壁は漆入りの漆喰でシックに仕上げた

DATA

敷地面積 / 430.89 m² (130.57坪)
延床面積 / 271.61 m² (82.31坪)
1階 / 181.35 m² (54.95坪)
2階 / 90.26 m² (27.35坪)
用途地域 / 近隣商業地域
建ぺい率 / 80%
容積率 / 300%
構造 / 木造軸組工法
本体工事費 / 5170万円
竣工 / 2012年8月

INSTRUMENTS

キッチン / オリジナル
サッシ / LIXIL (トステム)
LDの照明器具 / オーデリック

撮影 / 垂見孔士
取材・文 / 渡辺圭彦



0 90 180 270

注目

照明計画

自然素材の陰影を満喫

屋は開放的で、どの部屋にいても明るい日差しが感じられて気持ちのいいT邸。夜もまた照明によって独特な雰囲気になる。縁側の格子から漏れる光などは、木の温もりを感じさせて見た目にも美しい。家の内外に自然素材がふんだんに使われているので、こうした陰影も楽しむことができる。



注目

左官仕上げ

左官の技を生かす

T部の外壁には、石灰・砂・スサ・ツノマタなどの自然素材に広島産の牡蠣殻からの抽出成分を加えた、天然素材100%の瀬戸漆喰を採用。T部の施工にあたっては技術力の高い左官を招いてそのノウハウを発揮してもらった。T部の内外の仕上げに左官の技が生かされた。

